

## 令和6年 野菜 病害虫発生情報 第5号

作物名：ブロッコリー（6月中旬）

### 1 コナガ（発生量：平年並）

- (1)フェロモントラップの誘殺数は概ね平年並で推移した。  
(2)巡回調査の発生地点率はやや低く、寄生数はやや多かった。

フェロモントラップにおけるコナガの誘殺推移（調査地点：つがる市）

年次	4-1	2	3	4	5	6	5-1	2	3	4	5	6	6-1	2	3	4	5	6
本年	-	-	-	-	12	30	129	84	59	103	108	101	60	80	15			
前年	18	26	42	52	3	122	103	182	73	96	95	86	89	48	76	42	20	-
平年	8	7	14	17	22	74	92	90	96	100	96	93	77	55	48	50	70	86

巡回調査におけるコナガの発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	10株当たり寄生数		
			甚	多	中	少		幼虫	蛹	計
6月中旬	本年	7	0	0	57.1	0	57.1	8.0	2.0	10.0
	前年	6	0	0	50.0	50.0	100	6.4	4.2	10.6
	平年	7	0	0	23.9	65.0	88.9	4.5	2.9	7.4

- 注) 1 発生程度：10株当たり幼虫・蛹の寄生数 甚 101頭以上、多 100～41頭、中 40～11頭、少 10頭以下  
2 調査地点：つがる市

### 2 ヨトウガ（発生量：平年並）

- (1)フェロモントラップの誘殺数は、概ね前年並で推移した。  
(2)発生地点率、寄生株率及び卵塊はともに平年並であった。

フェロモントラップにおけるヨトウガの誘殺推移（調査地点：つがる市）

年次	4-5	4-6	5-1	2	3	4	5	6	6-1	2	3	4	5	6	7-1
本年	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0				
前年	-	-	0	0	0	1	2	1	4	3	0	1	0	-	-
前々年	-	-	-	-	-	-	-	9	11	3	1	1	0	0	0

巡回調査におけるヨトウガの発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	寄生株率（%）	（参考）10株当たり寄生数	
			甚	多	中	少			卵塊	幼虫
6月中旬	本年	7	0	0	0	14.3	14.3	0.5	0.0	0
	前年	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	平年	7	0	2.9	5.3	6.1	14.2	1.1	0.1	0.5

- 注) 1 発生程度：卵塊・幼虫の寄生株率 甚 31%、多 30～16%、中 6～15%、少 5%以下  
2 調査地点：つがる市

### 3. モンシロチョウ（発生量：－）

幼虫の発生は例年と同様に認められなかった。なお、卵の寄生数は平年より多かった。

巡回調査におけるモンシロチョウの発生状況

調査時期	年次	調査 地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	10株当たり寄生数	
			甚	多	中	少		幼虫	(鱗)卵
6月中旬	本年	7	0	0	0	0	0	0	1.9
	前年	6	0	0	0	0	0	0	0
	平年	7	0	0	0	7.6	7.6	0.0	0.2

注) 1 発生程度：10株当たり幼虫の寄生数 甚 41頭以上、多 40～21頭、中 20～6頭、少 5頭以下  
2 調査地点：つがる市

### 4. タマナギンウワバ（発生量：多い）

発生地点率は平年より高く、幼虫の寄生数も平年より多かった。ただし、いずれの地点も発生程度は「少」であった。

巡回調査におけるタマナギンウワバの発生状況

調査時期	年次	調査 地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	10株当たり寄生数	
			甚	多	中	少		幼虫	(鱗)卵
6月中旬	本年	7	0	0	0	85.7	85.7	1.4	0
	前年	6	0	0	0	33.3	33.3	0.2	0.8
	平年	7	0	0	0	32.2	32.2	0.4	0.5

注) 発生程度及び調査地点はモンシロチョウと同じ。

#### 《この情報に関する問合せ先》

青森県病害虫防除所

〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6

TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900

担当：技師 齋藤三季